

11/22
(日)



東笠取清瀧宮

御祭神は山の神・大山津見神です。もとは醍醐寺の鎮守神・清瀧権現が祀られていましたが、神仏分離を経て現在の祭神となりました。境内には宇治市の銘木に指定された樹齢200年以上の大きな榊の木があります。

清瀧宮 奉納

この度、清瀧宮の御神前において、語りによるお話を奉納させて頂く運びとなりました。秋の深まる静寂に包まれた境内にて、言葉に耳を傾け、心身を整える特別な時間をお過ごしください。

そして、美しい昔話の後には、皆様と一緒に温かいお茶と季節のお菓子を囲み穏やかなひとときを過ごしたいと思います。どなた様もお気軽にご参加ください。

【日 時】 2026年11月22日 (日)

12:30アクトパル宇治第二駐車場集合
車で10分移動後、13時半～16時半

【会 場】 東笠取清瀧宮 境内

【語 り】 言語造形家

ことばの家主宰 諏訪耕志

【お茶会】 茶屋 綴(つづり)

【参加費】 大 人 (中学生以上) 4000円

小学生 1500円

幼 児 無料

※お茶会のお茶とお菓子を含む

※参加費の一部は神社への初穂料として奉納
させていただきます。

【申込み先】 工房うたた

Instagram DM若しくは、公式line
に参加の方のお名前、お子さんの
学年、電話番号記入の上、お申込み
下さい。

Instagram /

公式Line/



主催：工房うたた

宇治市まちのリビング創出促進事業

オトノ間

ー小さなおはなし会と

お茶会ー



【語り手プロフィール】

諏訪耕志

1964年大阪市出身・伏見区在住。

言語造形家鈴木一博氏に師事し、現在、舞台公演、朗読・語りの会、講座などを通して活動中。

2004年より、シュタイナーの学びと言語造形のアトリエ「ことばの家」を主宰

Instagram



【タイムスケジュール】

13時半～	ご祈祷 清瀧宮 久野宮司様より
13時45分～	第1話 外郎売り 歌舞伎十八番 リコーダー演奏
	第2話 笠地蔵 日本の昔話
14時半～	ほっと一息 語らう時間
15時頃～	お茶会「自家製玄米茶づくり」
16時半頃	解散

言語造形って？

「ことばを話す・語る」に取り組む時、人は必然的に、「わたしという人」に取り組むことになります。その人の生命、こころ、精神が、ことばに満ちる時、ことばはことば本来の輝きを取り戻し、人が人本来の輝きを取り戻します。

【茶人 プロフィール】

茶屋 綴

Instagram



南山城村にて自然に寄り添い夫婦で農薬、化学肥料不使用のお茶づくりをしている。摘採、蒸し/萎凋、揉捻、仕上げ、包むところまで、自園自製で顔の見えるものづくりを心がけながら、お茶の愉しさを発信している。

【お茶会ワークショップの内容】

素焼きの道具「焙烙」を使い、ご自身で玄米をじっくり炒って、できたてのブレンド茶を作ります。

ちょこっとおはなし

焙煎玄米のちから 東洋の「陰陽五行」の考え方では、生の玄米は身体を冷やす「陰」の性質を持ちますが、じっくり火を通すことで、身体をやさしく温めてくれる「陽」の食べものへと生まれ変わります。秋深まる境内で、心も身体もほっこり温まるお茶時間を過ごしませんか。



静かな境内で過ごす、穏やかで温かい手仕事の時間。どなた様もお気軽にお越しください。皆さまとお会いできるのを楽しみにしております。